

海のそなえプロジェクト

- 2024年 夏季報道実態調査[最終調査結果] -



2025年4月25日公開

海のそなえプロジェクトの概要及び今回発表する調査結果

日本財団 海のそなえプロジェクト

例年夏になると増加する海や川での「水の事故」。
海のそなえプロジェクトは、危険を避けて、
水辺を安全に楽しむための正しいそなえを、
オールジャパンで推進することを目指しています。
日本財団、うみらい環境財団、日本水難救済会、
日本ライフセービング協会の4団体で、3カ年計画で
「海のそなえ」の新しい常識の浸透を図ることを目標としています。



今回発表する調査結果

毎年繰り返される水難事故の要因、シーンやシチュエーション分析のため、
海の利用が本格化している夏季（2024年7月1日～8月31日）の
溺れ事故の報道実態調査をまとめた最新の結果を公表します。

I. 2024年 夏季溺水事故報道調査

I. 2024年 夏季溺れ事故報道調査

夏季溺れ事故報道調査の概要

調査期間	2024年7月～8月
事故対象	■上記期間内に起きた水辺の溺れ事故 ■二次溺水（Ex.車の転落による溺水、ボートの転落、転覆による溺水）、自力帰還は対象 ■自殺、災害関連は対象外
溺水の定義	意識あり（生存）、帰還不能、意識不明、死亡、行方不明
対象水域	沖合、海岸、港・漁港、河川、湖沼、プール、その他（ダム、用水路等）
対象範囲	日本全国
調査方法	■全国紙（1社）、地方紙（45社）、データベース（1社）、地方紙収集サイト（1社）のデジタル新聞、放送局オンラインニュース（5社）溺水事故に関する記事を収集 ■「溺れ」「溺水」「行方不明」の3つの検索ワードを用いて、毎日検索し収集
分析方法	収集した計2,684件の記事をもとに集計、分析

調査概要；

2024年7月～8月の夏季に起きた水辺の溺れ事故について、報道記事からデータ収集・分析を実施。

対象水域は、沖合、海岸、港・漁港、河川、湖沼、プール、その他（用水路等）。

調査対象の報道記事は、全国紙（1社）、地方紙（45社）、データベース（1社）、地方紙収集サイト（1社）のデジタル新聞、放送局オンラインニュース（5社）。自然災害による溺水事故、自殺は除く。

I. 2024年 夏季溺れ事故報道調査

報道された今夏の溺水事故は229件、溺水事故者数は265人。
溺水者は7割弱が死亡しており、事故の6割が海域で発生。

溺水事故件数: **229件**

溺水事故者数: **265人**

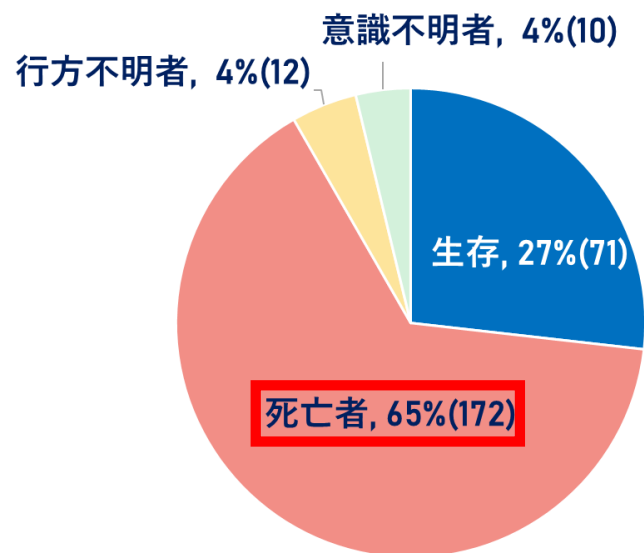


Fig.1 溺水者数の内訳

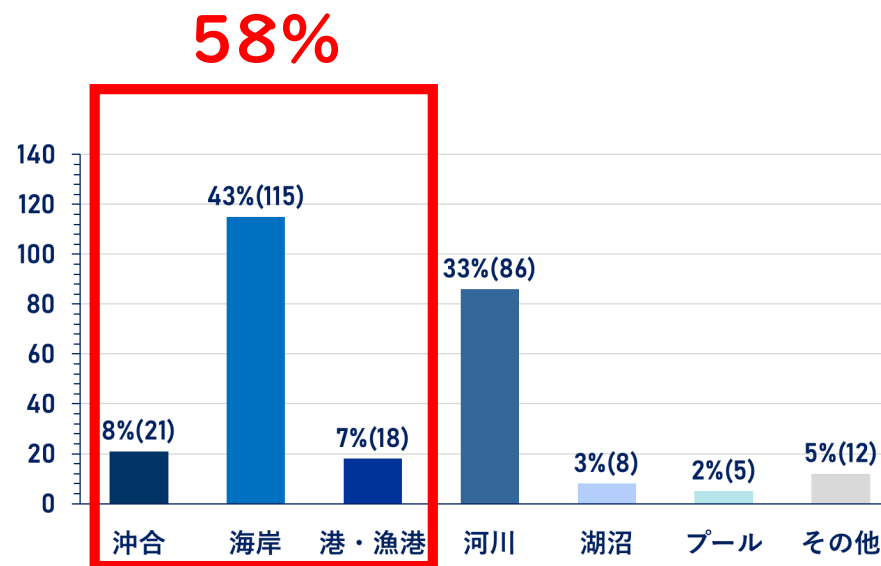


Fig.2 対象水域別の溺水者数

I. 2024年 夏季溺れ事故報道調査

年代別の溺水者数は、
19歳以下、20代、70代が多い。

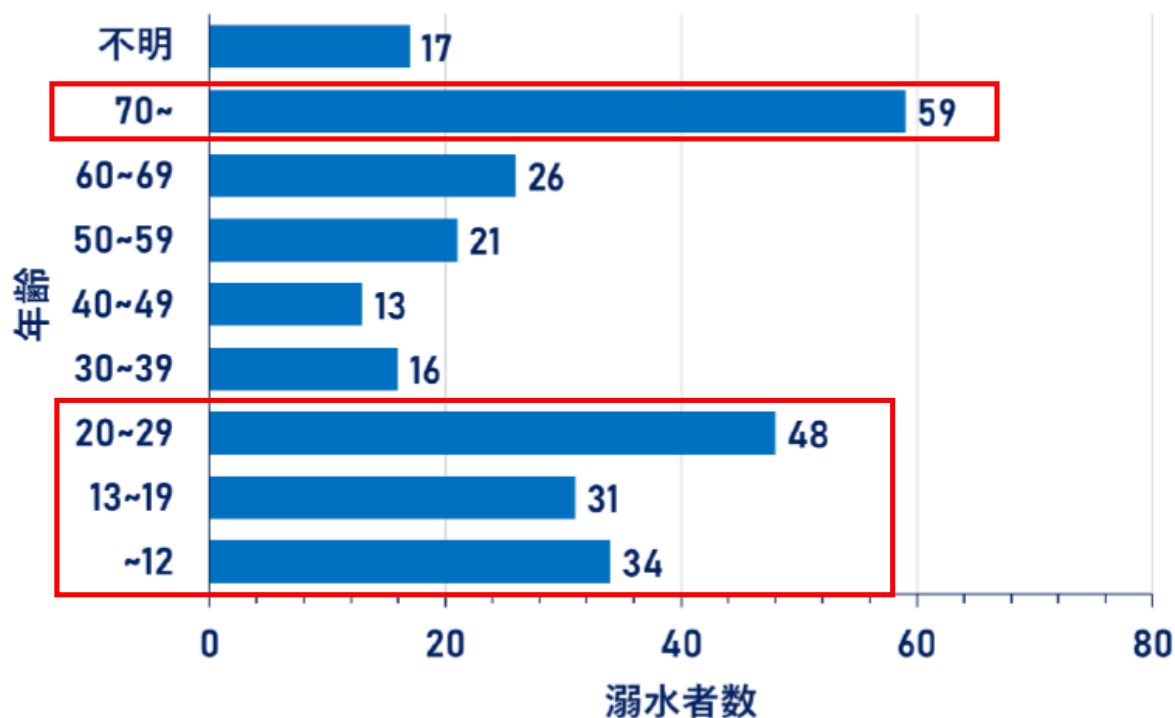


Fig.3 年齢別の溺水者数

I. 2024年 夏季溺れ事故報道調査

男性の溺水者数は、全体で女性の約5倍。
どの年代でも女性よりも男性の溺水者が多い。

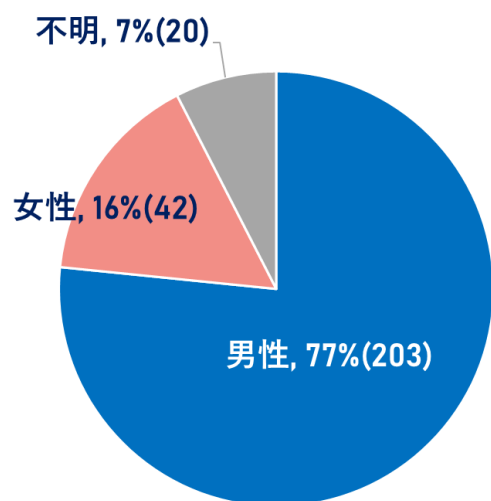
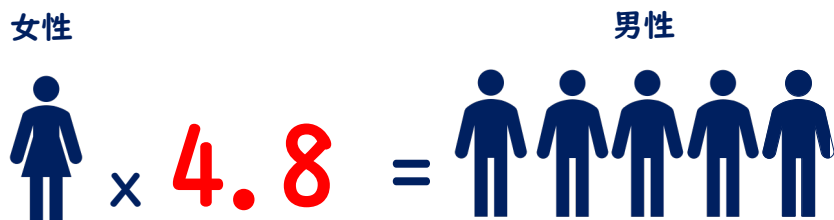


Fig.4 性別の溺水者数

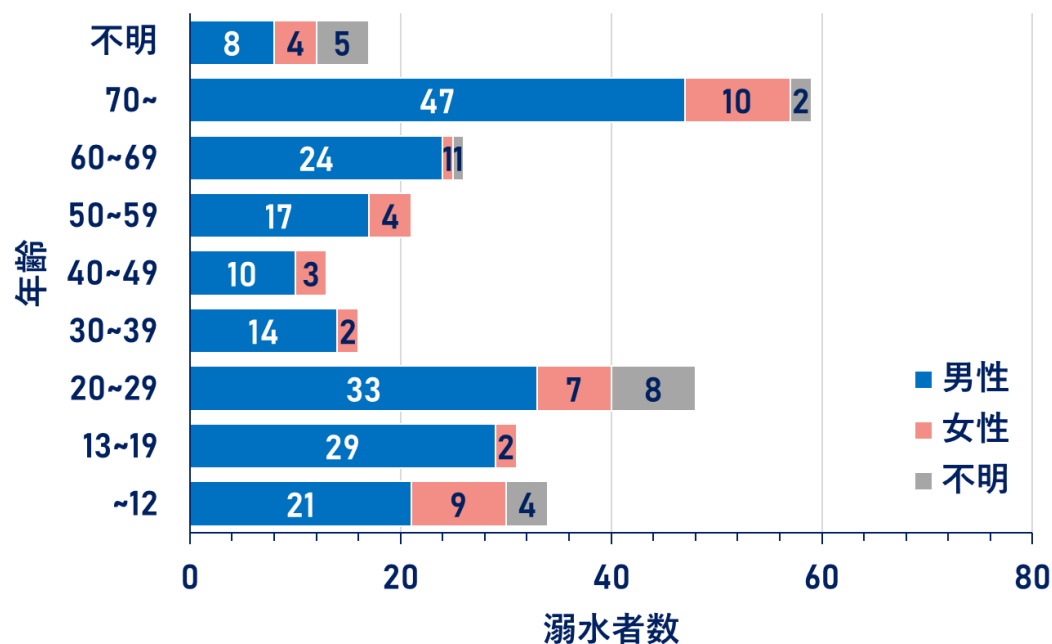


Fig.5 年齢別・性別の溺水者数

I. 2024年 夏季溺れ事故報道調査

溺水時の行動は遊泳時が最も多く、次いで川遊び、釣りが続く。
30歳未満では遊泳・川遊びが多く、60歳以上では釣りが多い。

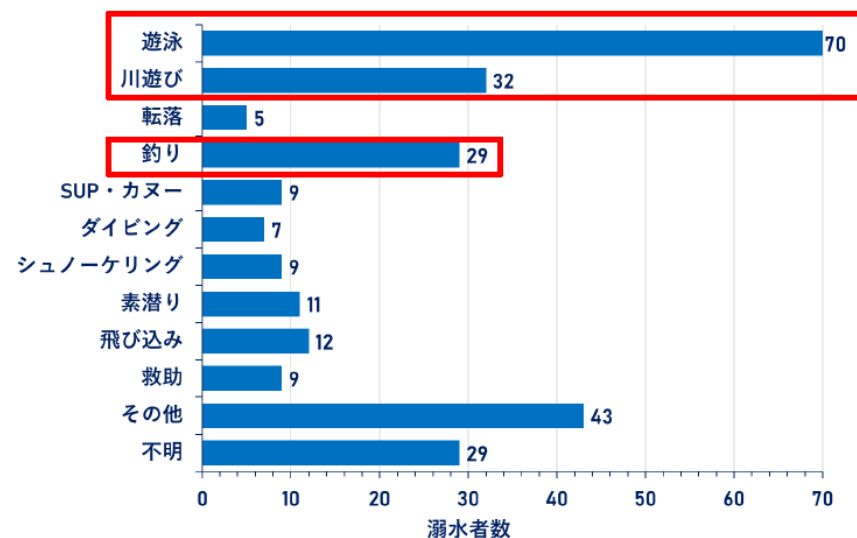


Fig.6 行為別・年齢別の溺水者数

(溺れ事故が5件未満のアクティビティはその他にカウント)

	~12	13~19	20代	30代	40代	50代	60代	70代~	不明
遊泳	15	10	22	6	4	3	4	5	1
川遊び	8	13	8	3	0	0	0	0	0
転落	0	0	0	0	1	0	2	2	0
釣り	0	0	0	2	1	2	8	14	2
SUP・カヌー	0	0	5	0	1	2	0	0	1
ダイビング	0	1	0	0	1	4	0	1	0
シュノーケリング	0	0	1	1	1	1	2	2	1
素潜り	0	0	2	0	0	1	2	6	0
飛び込み	1	2	3	1	0	0	0	0	5
救助	0	3	0	0	2	0	2	1	1
その他	10	0	4	2	1	7	2	14	3
不明	0	2	3	1	1	1	4	14	3

Table.1 行為別・年齢別の溺水者数

(溺れ事故が5件未満のアクティビティはその他にカウント／年齢不明は含まず)

報道では救助による溺水者は9人だが、死亡事故には救助行為が確認できない事例が含まれると考えられるため、潜在的な救助による溺水リスクはより高いと考えられる。

I. 2024年 夏季溺れ事故報道調査

午前より午後の方が約2倍事故が多い。
一方、年齢別では50代と60代で午前の事故が多い。

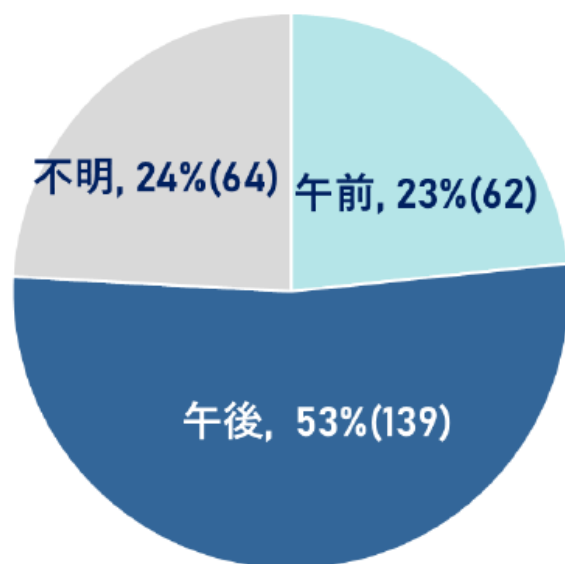


Fig.7 午前午後の事故内訳

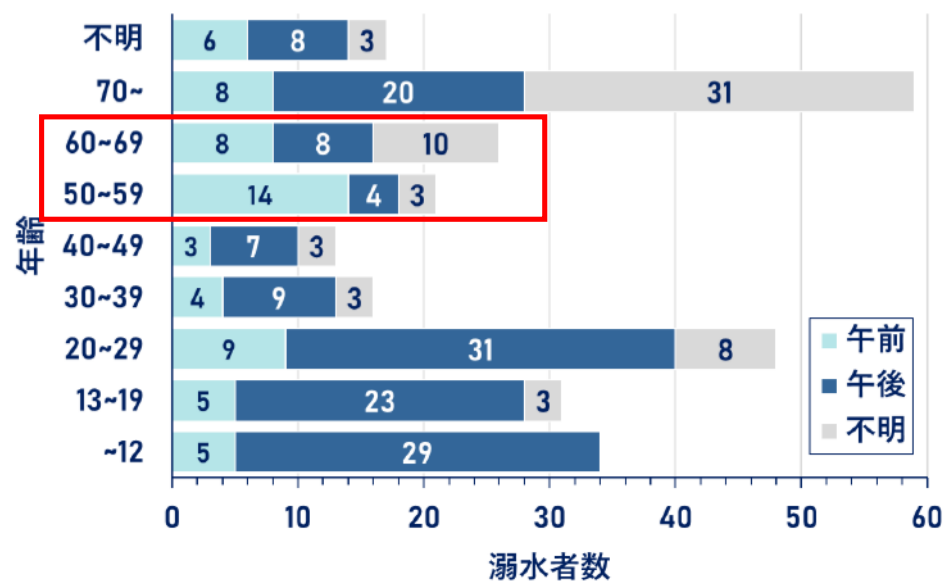


Fig.8 午前午後で年齢の違い

I. 2024年 夏季溺れ事故報道調査

外国人の溺水者は全体の8%。
事故を起こした水域は河川が半数弱、海域が4割程度。

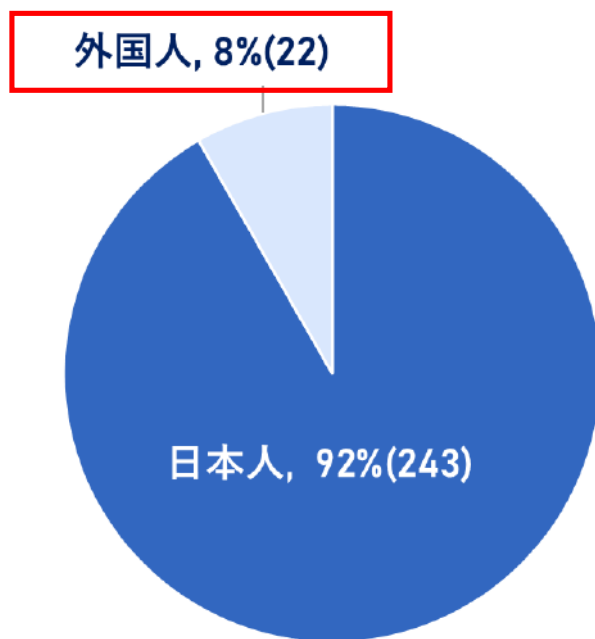


Fig.9 溺水者の日本人, 外国人の内訳

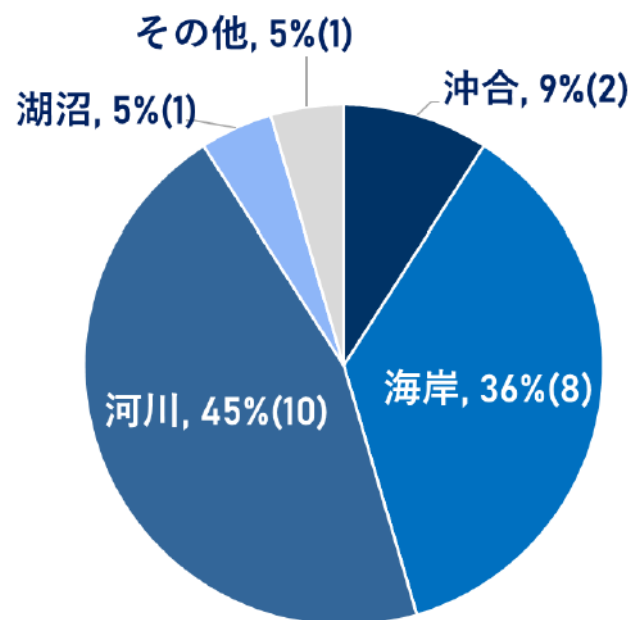


Fig.10 外国人が溺水した水域

Ⅱ. 考察と分析

Ⅱ 考察と分析

〔i〕 事故要因の分析

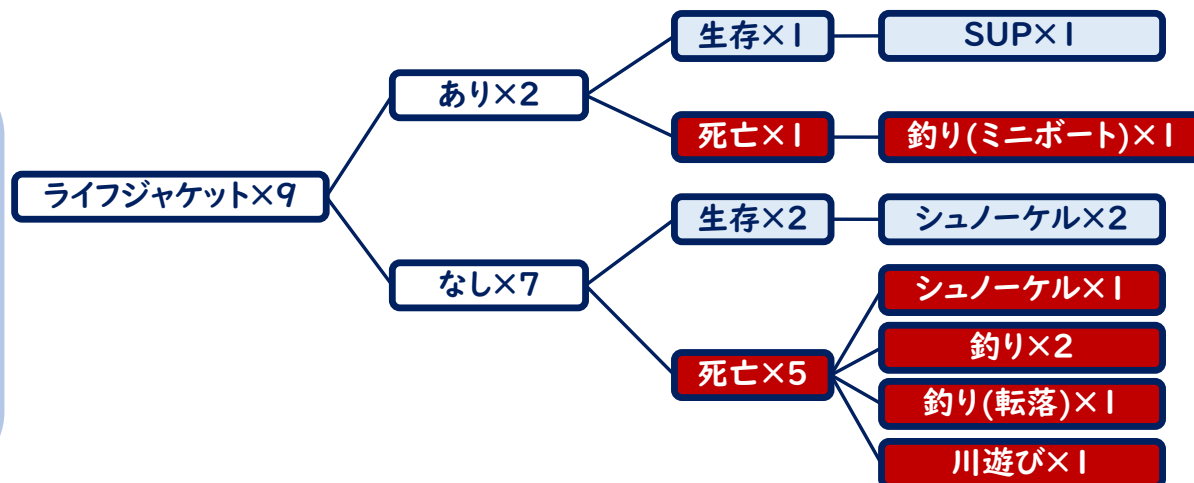
① ライフジャケットに関連する溺水事故

溺水者265人に対して、「ライフジャケット」の着用有無に言及した記事は8件、9人。

「ライフジャケット」を着用して事故にあったのは2人、着用なし7人のうち死亡は5人。ライフジャケットなしは死亡に繋がりやすい。

「ライフジャケット」の着用は、いずれも釣りやアクティビティに関して言及しており、遊泳に関してはゼロ。

一般的な認識として、遊泳≠ライフジャケットと考えられる。



② 浮き輪に関連する溺水事故

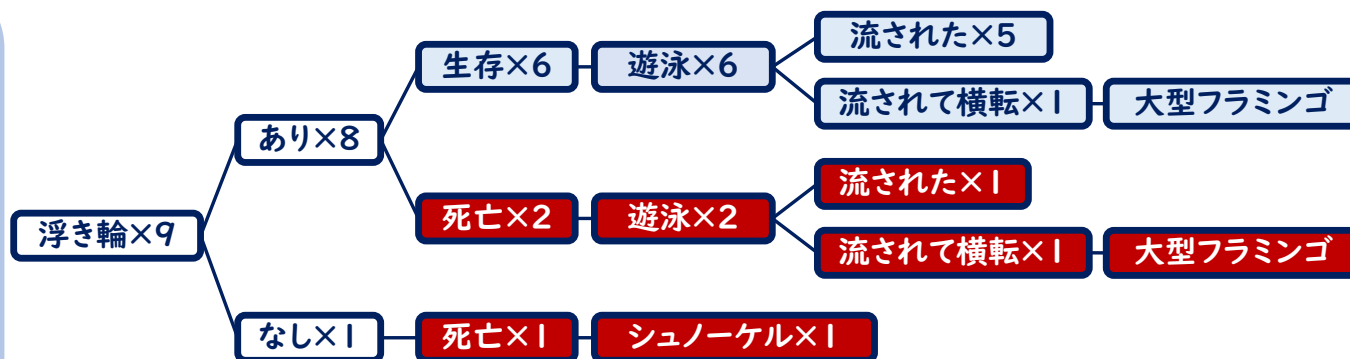
溺水者265人に対して、「浮き輪」の使用有無に関して言及した記事は6件、9人。

「浮き輪」を利用して事故にあったのは8人、生存は6人、死亡は2人。

「浮き輪」の利用は、そのほとんどが「遊泳(8人)」。

「浮き輪」の利用は、遊泳時に流されることが事故に繋がりやすい。

生存、死亡に関わらず「大型フラミング」は「流されて横転」したことが溺水事故につながっている。



Ⅱ 考察と分析

〔i〕 事故要因の分析

③ 海岸における自然要因の分析 「波」

溺水事故の自然要因に「波」があるが、海岸での溺水者115人に対して、「波」を自然要因として言及した記事は9件、17人。

遊泳可能と定義されている波高0.5m時に、溺水した者は6人(55%, 不明除く)であり最も多く、死亡も2人含まれている。6人中3人(50%)が遊泳中の事故である。

波がそれほど高くない時でも、遊泳中の溺水事故が発生し、死亡事故に繋がるため十分注意が必要。

④ 海岸における自然要因の分析 「風」

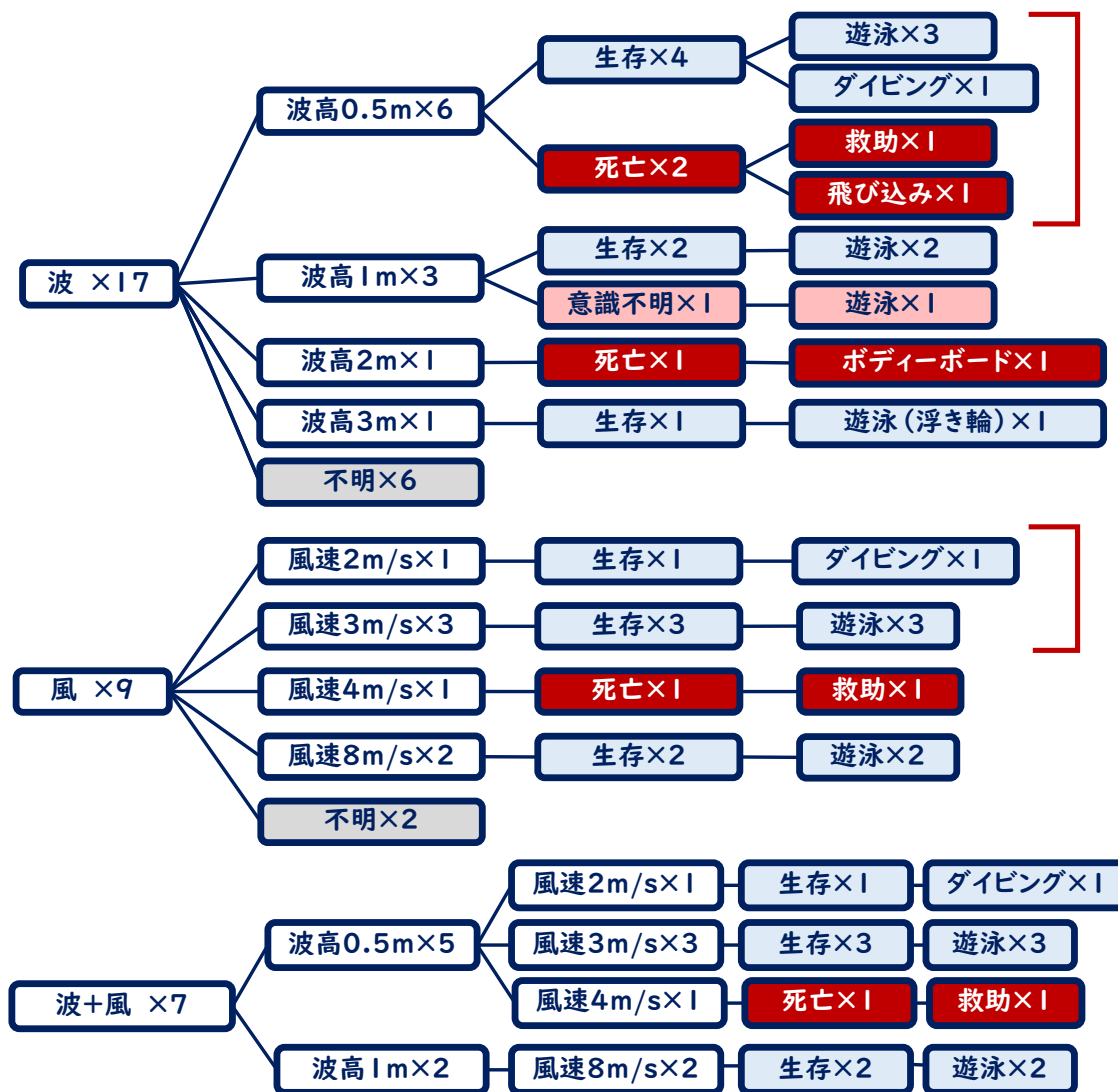
溺水事故の自然要因に「風」があるが、海岸での溺水者115人に対して、「風速」について言及した記事は4件、9人。死亡も1人含まれている。

Beaufort風力階級2(2~3m/s, 軽風)の条件でも、4人の溺水事故が発生している。3人(75%)が遊泳中の事故である。

風がそれほど強くない時でも、遊泳中の溺水事故が発生するため注意が必要。

溺水者を救助する行為において、波高が0.5mと小さい場合でも風速が大きいと死亡事故に繋がる可能性がある。

注) その他の自然要因; 溺水事故の自然要因として「離岸流」に言及した記事はゼロ。



Ⅱ 考察と分析

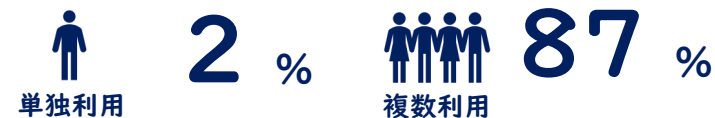
〔ii〕生存理由の分析

生存した人は誰に助けられた？

生存した溺水者71人を救助した者は、他人が35人(49%)と最も多く、家族9人(13%)や友人・知人3人(4%)は少ない。

溺水者71人のうち62人(8割)が複数利用であったことから、同行者の溺水に気付かないことが課題と考えられる。

なお、警察や海上保安庁はそれぞれ1%(1人)であり、公的救助機関の到着に時間を要することから、バイスタンダーによる適切な救助が求められる。



生存した溺水者(71人)の利用状況



生存した溺水者(71人)を救助した者(自助含む)

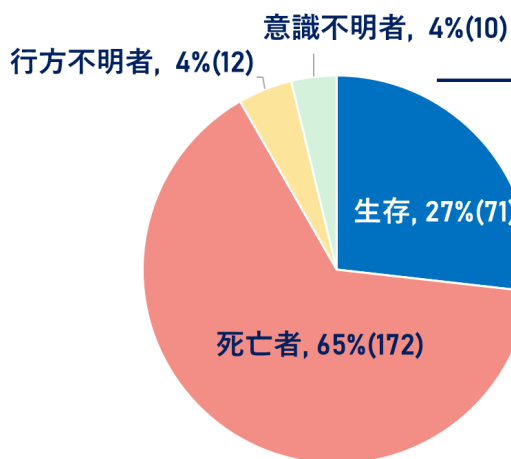


Fig. 1 溺水者数の内訳

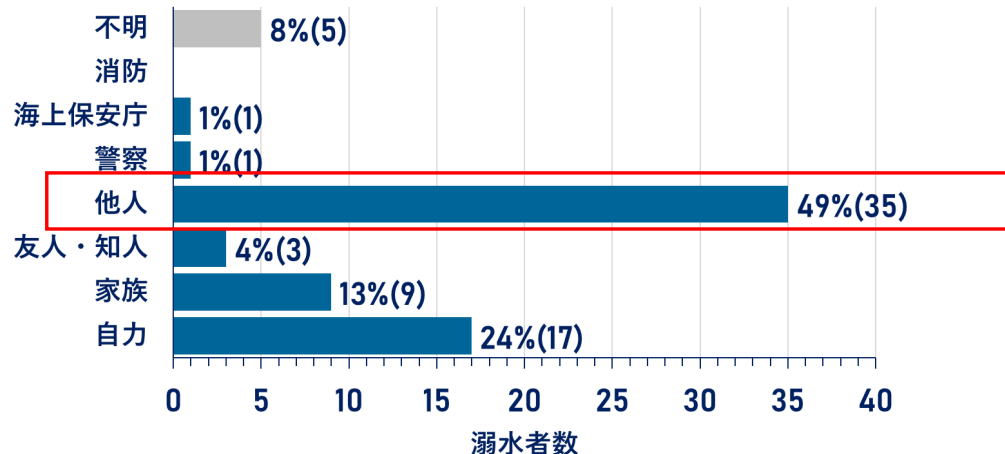


Fig. 4.2 生存した溺水者の救助者

Ⅱ 考察と分析

〔ii〕生存理由の分析

意識不明、心肺停止の溺水者はなぜ助かったか？

生存した要救助者71人の溺水時の状態は、61人(86%)が意識あり、6人(8%)が意識不明、4人(6%)が心肺停止であった。

意識不明、心肺停止の10人の溺水者を救助したのは、家族4人、他人4人、次いで友人・知人であり、一次救助者のほぼ全員が周囲にいた同行者や他人である。

ほとんどのケースで一次救助者が二次救助者となり、救命活動を行っている。家族など同行者がCPRの技能を習得していることが要救助者の生存に大きく影響するといえる。

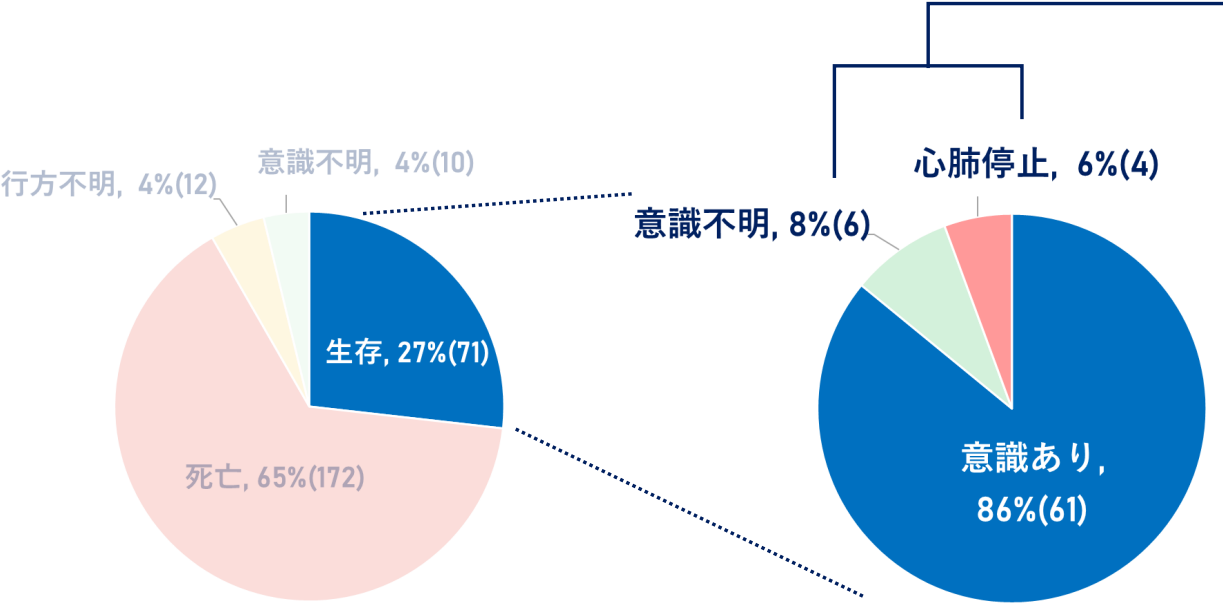


Table 2 意識不明、心肺停止の溺水者の救助者

Case	一次救助者 (水域からの救出等)	二次救助者 (CPR等)
1	他人	他人
2	母親	母親
3	父親	他人
4	父親	父親, 他人
5	知人	不明
6	他人	不明
7	他人	不明
8	他人	他人
9	父親	父親
10	不明	不明